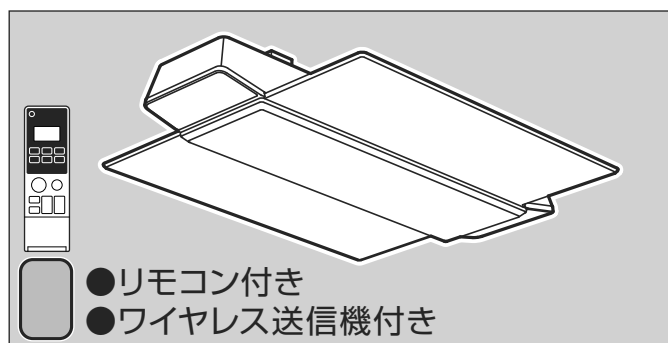


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



AIR PANEL LED
THE SOUND

住宅用照明器具 (スピーカー搭載LEDシーリングライト)

品番 **LGC38202**
LGC58202



Qualcomm® aptX™
Low Latency

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、

正しく安全にお使いください。

特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

・スピーカーをご使用にあたってはスマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器が必要です。また壁スイッチも必要です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm

Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	3
各部のなまえと付属部品	4
取り付け前のご確認	5
取り付け前の注意事項	5
照明器具を取り付ける	6
各部のはたらき	8
・受信器(本体)	8
・リモコンの準備	8
・リモコン	9
・リモコン操作時の音の消しかた	9
・ワイヤレス送信機	10
・スピーカーの電波受信について	10
あかりをつける	11
・あかりシーンを切り替える	11
・常夜灯を点灯する	12
・壁スイッチで照明器具を操作する	12
おまかせモードとは	13
おまかせモードの設定	14
・おまかせモードの使いかた	14
・おまかせモードの設定時刻を変更する	15
リモコンの便利な使いかた	16
・複数のリモコン照明器具を操作する	16
・おやすみタイマーの使いかた	16
・手元灯(橙)を操作する	16
るすばんモードとは	17
るすばんモードの設定	17
・るすばんモードの使いかた	17
・るすばんモードの設定時刻を変更する	17
音楽を再生する	18
・ご使用前の準備(Bluetooth®機器をペアリングする)	18
テレビの音声を再生する	19
・ご使用前の準備(ワイヤレス送信機をペアリングする)	19
・音声を再生する	19
照明器具を取り外す	20
お手入れについて	21
故障かな?と思ったら	22
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



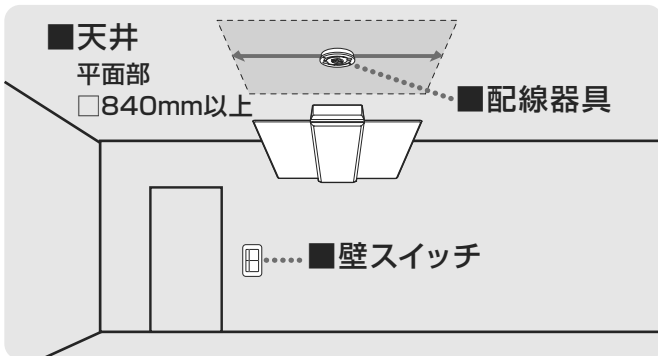
してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



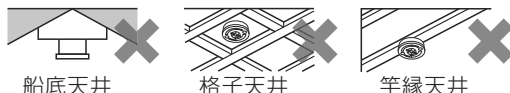
■天井



必ず守る

- 必ず上図のような平面部が□840 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



禁止

- 補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

- 傾斜した場所に取り付けない
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。
内装材の重ね貼りなどにより出しが小さくなったもの



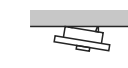
禁止



ローゼット10mm未満
斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満
シーリングハンガー
が取り付けられたもの



ケースウェイに
取り付けられたもの



電源端子露出タイプ
電源端子

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る、速やかにACアダプターを抜く
そのまま使うと火災、感電の原因となります。
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

- アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
・ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

- 電源プラグは根本まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



禁止

- 音がひずんだ状態で長時間使用しない
スピーカーが発熱し、火災のおそれがあります。

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以内で本器を使用しない
本器からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

- 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、ACアダプターを交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない
感電の原因となります。



接触禁止



ぬれ手禁止

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。



警告



禁止

- コード・電源プラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因となります。

・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



禁止

- 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災、感電の原因となります。

- ・機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

- 指定のACアダプターを使う

指定外のACアダプターで使用すると、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- 長時間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因となることがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- リモコンのLED手元灯やカバーを外した状態で

点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

- ACアダプターとDCケーブルを他の機器に使用しない

故障の原因となります。

- コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。また、引っかけて、けがの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・スピーカーの初期設定を行うとき、壁スイッチが必要です。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・リモコン送信機の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- Bluetooth®機器や音楽、動画によっては、音割れや雑音が発生することがあります。その場合、Bluetooth®機器側で音量をさげてください。
- Bluetooth®機器側の音質調整で低域や高域を上げすぎると音がひずむことがあります。その場合、Bluetooth®機器側の設定を調整してください。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LGC38202については、LEDの配置が異なるため一部光らないレンズがあります。
- キレコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります)
- ☞お手入れについては、21ページ「お手入れについて」参照

【リモコンの留意点】

- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。☞16ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照
- リモコンのLED手元灯が点灯している場合やリモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。(LED手元灯の点灯中は、電池の消耗に関わらず照明器具の操作が行えません。)
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどをかけないでください。故障の原因となることがあります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- 水のかかる場所や直接油煙・湯気のかかる場所に設置しないでください。音質が劣化する可能性があります。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーの音量を上げすぎると、スピーカーの振動が階上の床面に伝わりやすくなります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも1つの方法です。

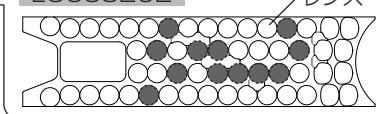


音のエチケット
シンボルマーク

レンズの●部分は、光りません。
(下図はレンズの1/2を表しています)

LGC38202

レンズ



各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
☞7ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンターパッド(包装材)の「押」ボタン部(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる

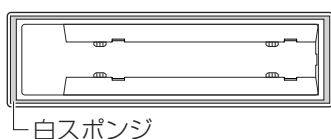


照明器具

アダプタ (1個)
スピーカー用受信器
(Bluetooth® ユニット)

スピーカー
パネル
(裏面キレコート仕様)
キレコートについては、
21ページ
「お手入れについて」参照

カバー
◎カバー裏面の周囲についている
白スポンジは取らないでください。
(カバーと本体の間にスキマが空いて
光もれなどの原因となります。)



L表示
(本体内側の端に
表示しています)

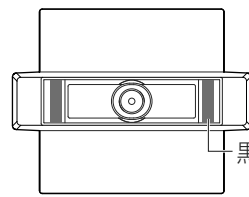
LED

コネクタ

配線器具

本体

◎器具本体裏面に2カ所ついている
黒スポンジは取らないでください。
(本体回転防止のため必要です)



常夜灯

R表示
(本体内側の端に
表示しています)

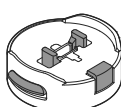
リモコン受信器

説明書

取扱説明書
かんたんガイド

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)
補修品番
NZ2717M



配線器具
丸型フル引掛シーリング
(1個)



引掛シーリング用
木ネジ(2本)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

ワイヤレス送信機セット (品番: HK8900)

ワイヤレス送信機(1個)
(Bluetooth®トランスミッター)



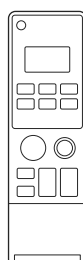
ACアダプター
(1個)

DCケーブル
(1個)

音声接続コード
(1個)

リモコン付属部品

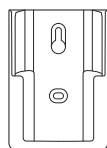
リモコン(1個)
補修品番: HK9800MM
操作方法是、
☞8~9ページ、
11~17ページ参照



単3形
乾電池
(2本)



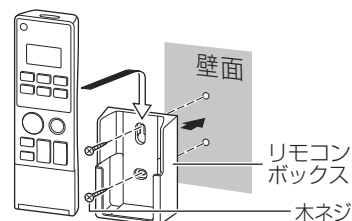
リモコン
ボックス(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ(2本)



●リモコンボックスを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。

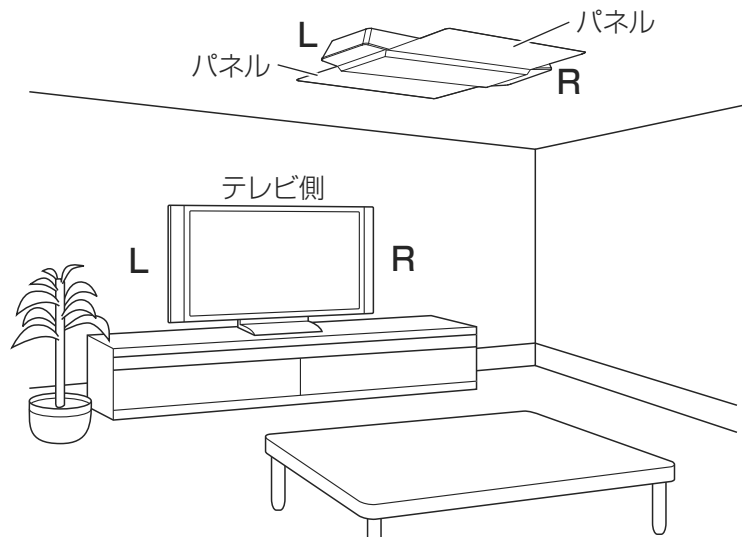


取り付け前のご確認

■ 取り付け方向について

付属のワイヤレス送信機を使用する場合

- テレビの位置に合わせてスピーカーのLとRを合わせてください。スピーカーのLとRの位置は、本体内部のラベルを確認ください。

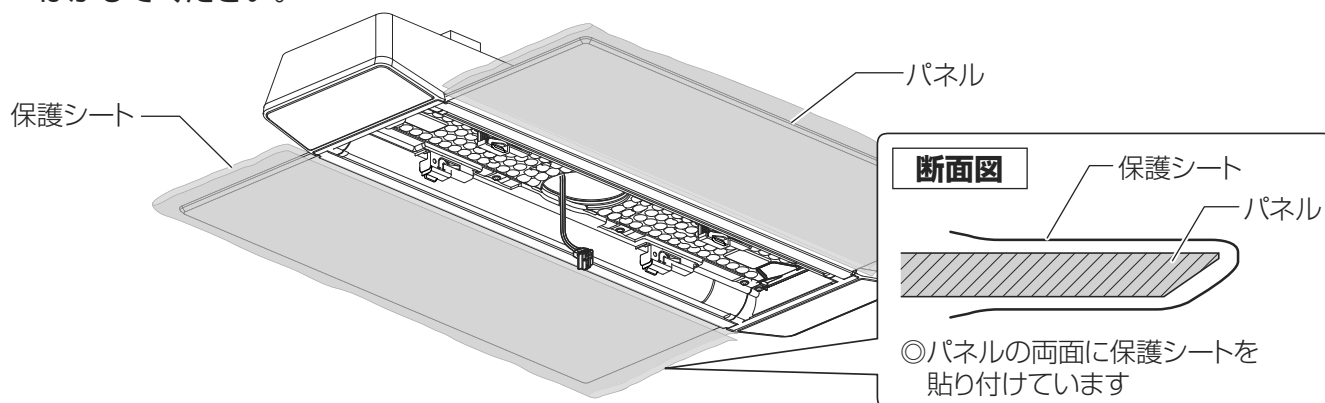


取り付け前の注意事項

■ 保護シートについて

保護シートは、器具を天井に取り付けてからはがしてください。

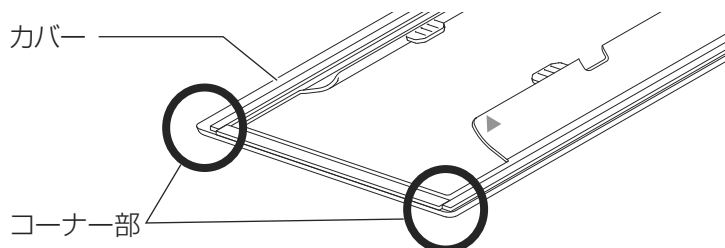
- ・パネルは指紋などが付着しやすいため、器具を天井に取り付けてから保護シートをはがしてください。



■ カバーの取り扱いについて

カバーに衝撃を与えないでください。割れや欠けの原因となります。

- ・特にカバーのコーナー部は衝撃に弱いため取り扱いには十分ご注意ください。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。☞ 3ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

◎工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具

丸型フル引掛
シーリング

WG5005 WG5015

フル引掛
ローゼット

WG6005

丸型引掛
シーリング

WG4000 WG4420
WG4425 WG1500

角型引掛
シーリング

WG1000

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

引掛埋込ローゼット

WG6000 WG6420 WG6130

引掛埋込ローゼット(ハンガーなし)

WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認

ボタンを押さずに左に回して
外れないことを確認する



警告



アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

スライド穴
(2カ所)

配線器具※

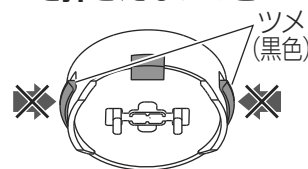
引掛刃
(2カ所)

アダプタ

ボタン

※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ(黒色)
を押さえないこと



アダプタのツメを押さえた状態
では取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

【付属のワイヤレス送信機を使用する場合】
テレビの位置に合わせてスピーカーのLとRを合わせる

①本体中心にセンターパッドが 取り付いていないか確認する

→ 取り付いている場合は、取り外す

☞ 4ページ「器具を底板から取り外す方法」参照

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。

◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。

◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、
アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

☞ 20ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

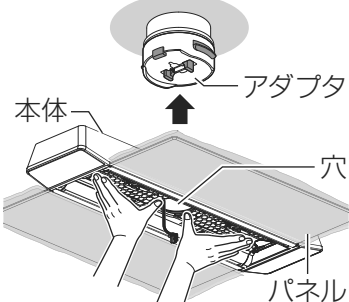
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



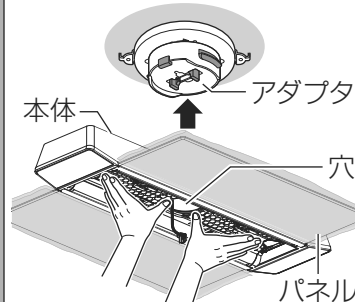
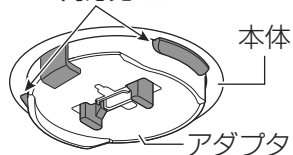
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

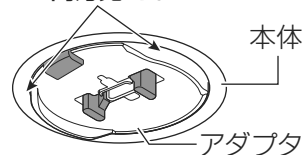
アダプタのツメ(黒色)が
両方見える



カチッと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

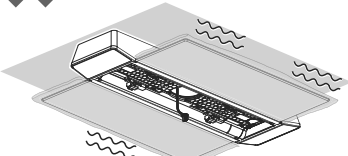
アダプタのツメ(黒色)が
両方見えない



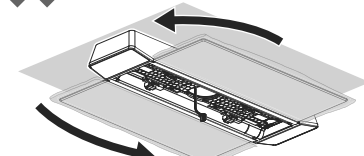
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

本体がグラグラ
していないか、
簡単に回転しないか
確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する



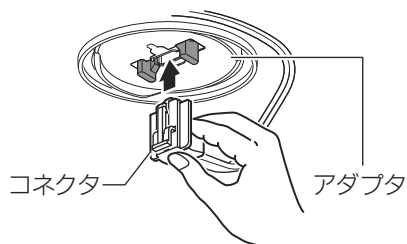
上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

LGC38202-T3F



5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む

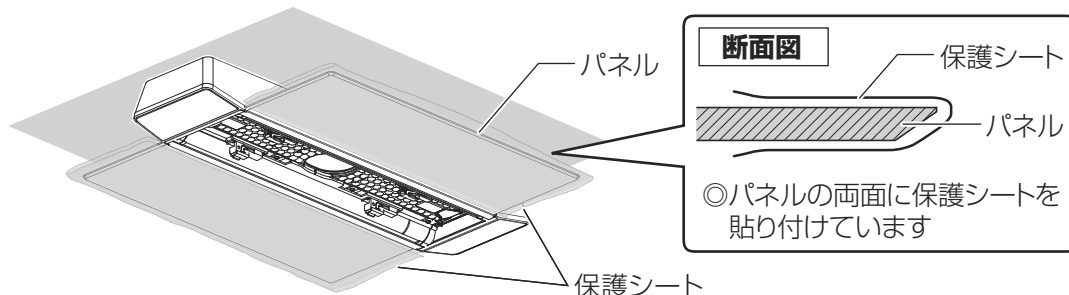


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 **3** に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（ 20ページ「照明器具を取り外す」手順 **1** 参照）本体を押し上げる（ 前ページ手順 **3** 参照）

6 パネルの保護シートを全部はがす

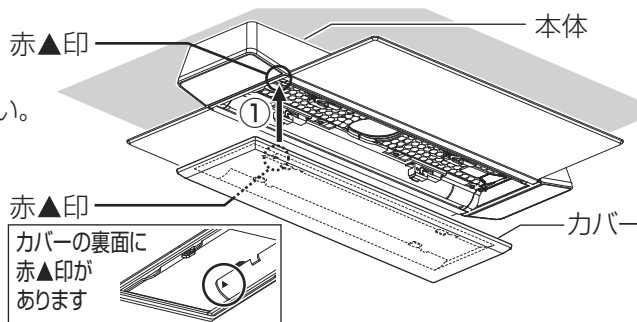
ゆっくりとていねいに、保護シートを全部はがす



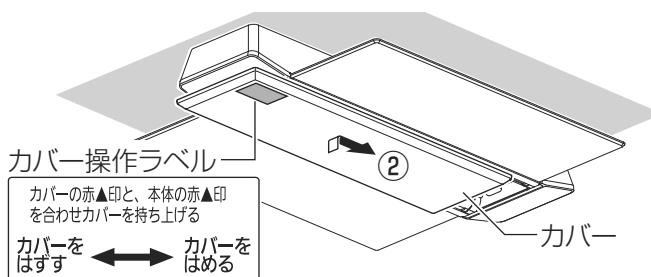
7 カバーを取り付ける

◎カバー裏面の周囲についている
白スポンジは取り外さないでください。
光もれなどの原因となります。

- ① カバーの赤▲印と
本体の赤▲印を合わせ
カバーを持ち上げる

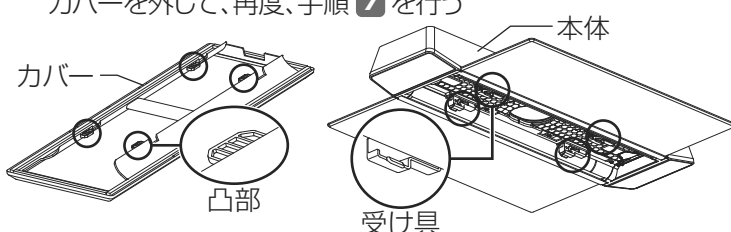


- ② カバーを軽く押しながら
カバー操作ラベルの
「カバーをはめる」方向に
スライドさせて取り付ける



確認

- カバーが傾いていないか、
パネルとの間にすき間が空いて
いないか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が
空いている場合は、カバーの
凸部が本体の受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを外して、再度、手順 **7** を行う



⚠ 注意

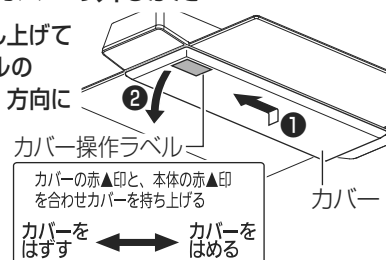


カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを軽く押し上げて
カバー操作ラベルの
「カバーをはすず」方向に
スライドさせて

- ② 外す

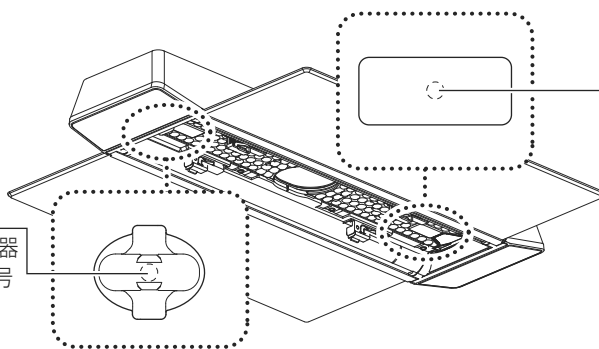


各部のはたらき

受信器 (本体)

スピーカー用受信器 (Bluetooth® ユニット)

スマートフォン・タブレット・Bluetooth®機器
および付属のワイヤレス送信機からの信号
を受けます。
さわったり、傷つけたりしないでください。



照明用リモコン受信器

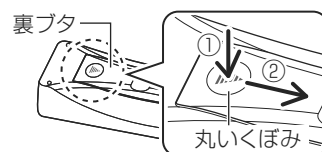
リモコンからの信号を受けます。
◎傷つけたり、汚したりしないで
ください。

リモコンの準備

●リモコンの裏ボタンを開けて、 単3形乾電池を2本入れる。

1 リモコンの裏ボタンを開ける

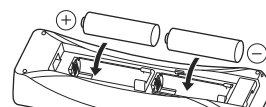
- ①裏ボタンの丸いくぼみを押しながら
- ②スライドさせて開ける



2

単3形乾電池を2本入れる

乾電池の⊕⊖を正しく入れる



3

裏ボタンをスライドさせて閉める



●リモコンの現在時刻を設定する

お買い上げ時や電池交換時の 設定のしかた

現在 00:00 時刻が点滅して
いる場合

右記手順④
から設定を
行う

現在時刻を変更する場合

0:00 時刻が点滅して
いない場合

右記手順②
から設定を
行う

1 リモコンのフタを開ける

2

リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上 押す

現在 00:00 現在が点滅する
(おまかせと「るすばん」は点灯)

3

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

現在 0:00 現在時刻が点滅する

4

リモコンの「△▽ボタン」を押して 現在時刻を合わせる

5

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

12:34 現在時刻が点滅から
点灯に変わり設定完了

6

リモコンのフタを閉じる

リモコン (フタを開けた状態)



メモ

- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの状態では、現在時刻の変更はできません。



各部のはたらき

リモコン (フタを開けた状態)

リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約90%で点灯
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

パネルボタン

パネル光が電球色2700K※、明るさ100%～約5%、パネル1枚または2枚で点灯(初期設定:明るさ100%、パネル2枚点灯)
☞ 12ページ「あかりシーンを切り替える」参照

センターボタン

センター光が電球色2700K※、明るさ100%～約5%で点灯(初期設定:明るさ100%)
☞ 12ページ「あかりシーンを切り替える」参照

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯
(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約70%)
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 12ページ「常夜灯を点灯する」参照

手元灯ボタン(蓄光)

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 16ページ「手元灯(橙)」を操作する」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 16ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

LED手元灯(橙)

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯が点灯

暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K※、明るさ約50%で点灯
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

おまかせボタン

おまかせモードを開始
☞ 14ページ「おまかせモードの使いかた」参照

消灯ボタン

調色ボタン

LEDの光の色を昼光色から電球色まで連続で調節
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED(100%～約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
☞ 11～12ページ「あかりシーンを切り替える」参照
12ページ「常夜灯を点灯する」参照

るすばんボタン

☞ 17ページ「るすばんモードの使いかた」参照

時刻設定ボタン

現在・おまかせモード・るすばんモードの時刻を設定
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
15ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
17ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

△▽ボタン

現在・おまかせモード・るすばんモードの選択、時刻を変更
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
15ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
17ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

フタ

フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替を行います。

チャンネルボタン

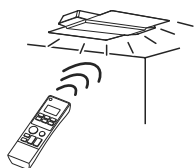
操作する器具のチャンネル(1～3)を設定
(初期設定:チャンネル1)
☞ 16ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

※:K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた 必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

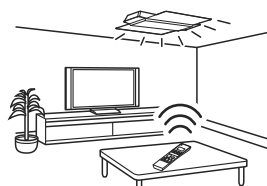
●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて操作する。



●「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



リモコン操作時の音の消しかた

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1



リモコンのフタを開けて
「リモコン送信部」を器具に向ける

2



リモコンの「点灯・普段ボタン」と
「チャンネルボタン」を同時に押す

メモ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

各部のはたらき

ワイヤレス送信機

ワイヤレス送信機に電源ボタンはありません。

Bluetooth®ボタン(📶)

スピーカーにワイヤレス送信機を登録するときに使用します。



状態表示ランプ

ゆっくり青色に点滅：接続待機中
速く青色に点滅：登録待機中
青色に点灯：接続完了

スピーカーの電波受信について

- ワイヤレス送信機、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器を机の上に置いた状態でも操作できます。
- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。障害物や設置環境によっては電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。

周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。

- スピーカーやワイヤレス送信機、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器の近くで
 - 1) 携帯電話やPHS電話、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器をご使用のとき
 - 2) 直流電圧で駆動するベルやモーターをご使用のとき
 - 3) 電子レンジなどの家電製品、パソコンやOA機器、無線LAN対応機器、その他2.4GHz帯の電波を使用する機器をご使用のとき
 - 4) マイクロ波治療器をご使用のとき
- ワイヤレス送信機、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の間を間仕切りなどで遮っているとき
- ワイヤレス送信機、スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と照明器具の周りを家具や金属製のキャビネットなどで囲んでいるとき
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または近くに各種無線局のある場所でご使用のとき

【電波について】

- 本器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 1. 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、電波の発射を停止してください。

2.4FH1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH : FH-S S変調方式です。
1 : 電波干渉距離は10mです。
—— : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

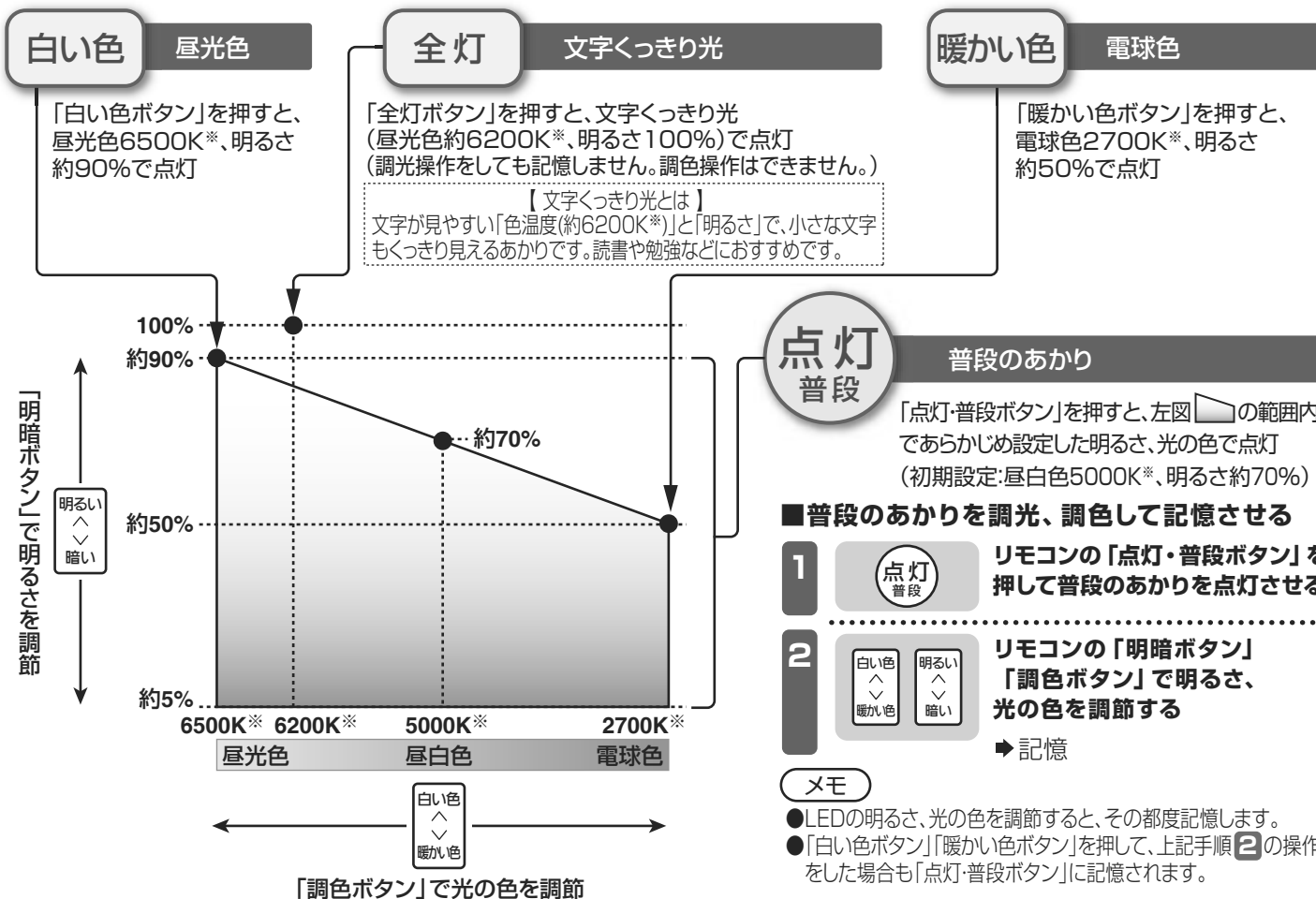
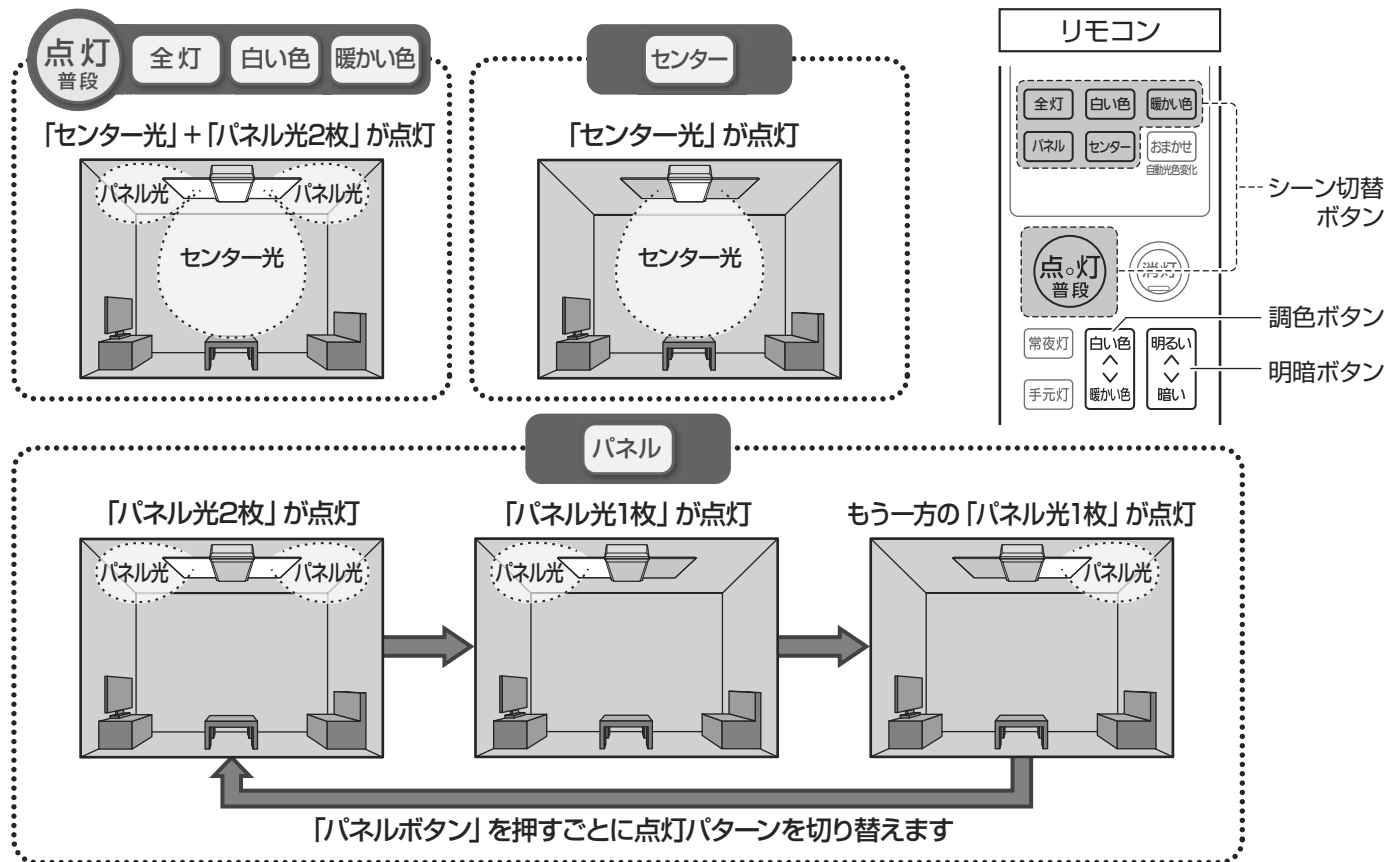


あかりをつける

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで6つのあかりシーン（普段のあかり、全灯、白い色、暖かい色、センター光、パネル光）が選べます。



※：K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

（次ページへつづく）

あかりをつける (つづき)

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

センター

センター光

食卓やリビングテーブルにあかりだまりをつくります。

「センターボタン」を押すと、電球色のセンター光が点灯
「明暗ボタン」で設定した明るさで点灯

	点灯	調色	調光
パネル光	—	—	—
センター光	○	電球色2700K固定	100%～約5%

- メモ ●初期設定:【調光】100%
●センター光の調光状態を記憶します。

■センター光を調光して記憶させる

- 1 センター リモコンの「センターボタン」を押してセンター光を点灯させる
- 2 明るい
↑
明暗ボタン
↓
暗い リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する
→ 記憶

パネル

パネル光

天井面をほんのりと照らしくつろぎ感を深めます。

「パネルボタン」を押すと、電球色のパネル光が点灯
「明暗ボタン」で設定した明るさで点灯
「パネルボタン」を押すごとに、点灯パターンを切り替え

	点灯	調色	調光
パネル光	○ パネル光の点灯パターン 2枚・1枚切り替え点灯	電球色2700K 固定	100%～約5%
センター光	—	—	—

- メモ ●初期設定:パネル光【調光】100%、パネル光は2枚点灯
●パネル光の点灯パターンと調光状態を記憶します。

■パネル光を調光して記憶させる

- 1 パネル リモコンの「パネルボタン」を押してパネル光を点灯させる
- 2 明るい
↑
明暗ボタン
↓
暗い リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する
→ 記憶

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

- 1 常夜灯 リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる
- 2 明るい
↑
明暗ボタン
↓
暗い リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する
→ 記憶

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯はアンバー（橙）色で点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

壁スイッチで照明器具を操作する

■点灯・消灯する

壁スイッチ ON

点灯

壁スイッチ OFF

消灯

記憶している前回の「あかりシーン」で点灯します

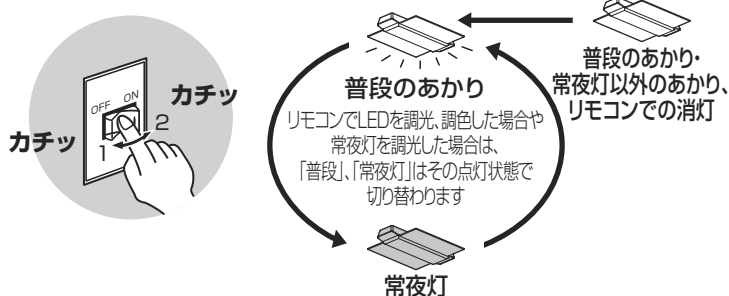
今回の「あかりシーン」を記憶して消灯します

- 「おまかせモード」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときもOFF前の点灯状態で点灯します。（リモコンの「おまかせモード」がONであれば「おまかせモード」は継続します。）
- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

注意 壁スイッチを素早く操作すると点灯状態が切り替わります。
☞ 右記「点灯状態を切り替える」参照

■点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、普段のあかり、常夜灯以外のあかりには切り替えできません。

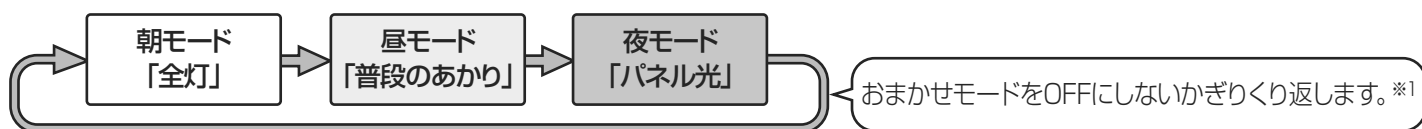


- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。



おまかせモードとは

設定時刻になると、自動であかりのシーンが切り替わり、生活リズムを整える環境を作ります。



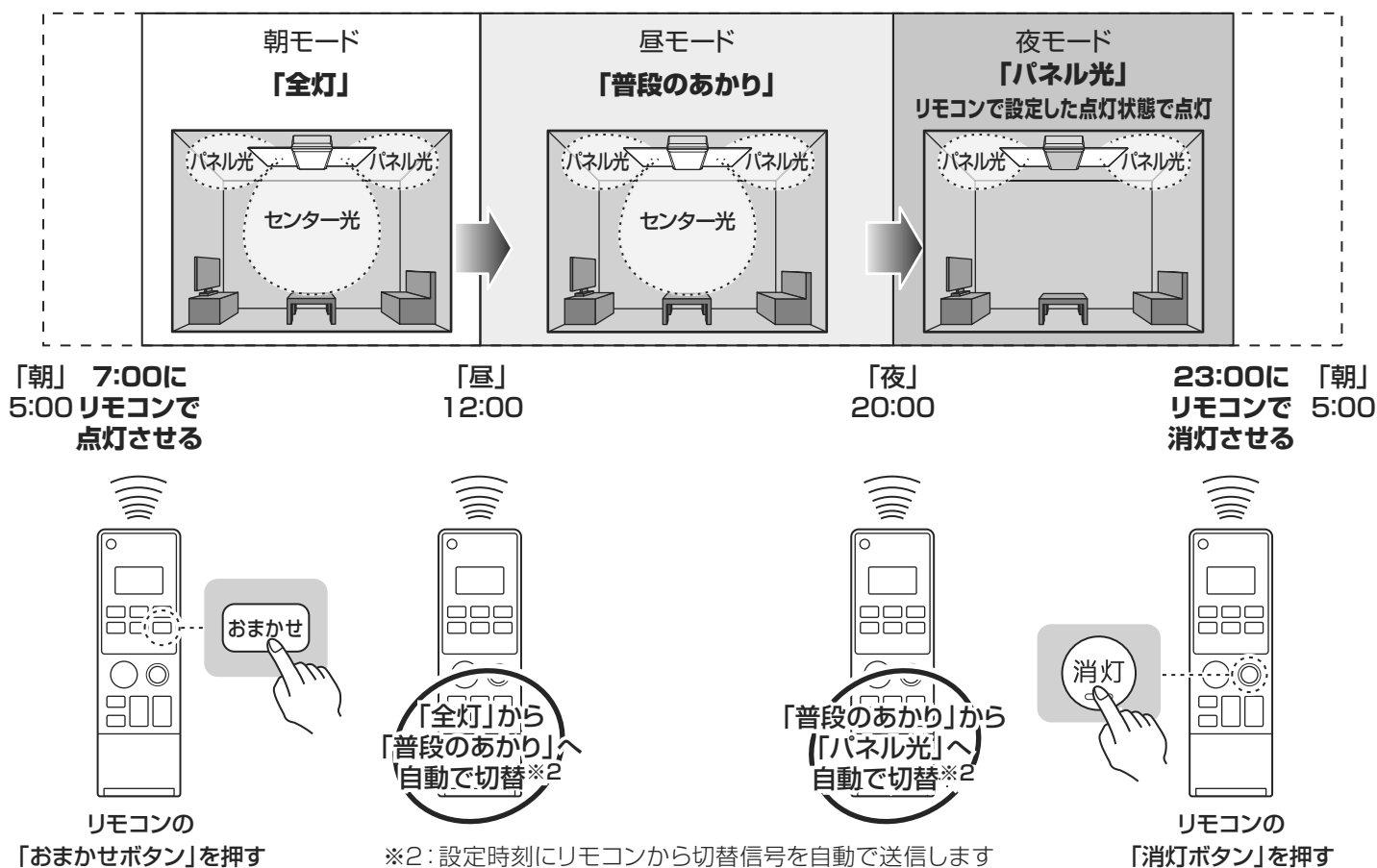
※1: 消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動切替をしません。

■ 動作イメージ

あかりの切替時刻の初期設定時刻	
「朝モード」	5:00 「全灯」へ切り替わる時刻
「昼モード」	12:00 「普段のあかり」へ切り替わる時刻
「夜モード」	20:00 「パネル光」へ切り替わる時刻

●初期設定時刻を変更する場合は、
 15ページ「おまかせモードの
 設定時刻を変更する」参照

たとえば・・・7:00に点灯、23:00に消灯させる場合



おまかせモードの使いかた

■ おまかせモードをONにする

1

おまかせ

リモコンの「おまかせボタン」を押す

▶ 予め設定した時刻に応じた明るさ、光の色で照明器具が点灯します。

5:00
おまかせ 朝
「朝モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(朝)5:00)

約2秒後

12:00
おまかせ 昼
「昼モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(昼)12:00)

約2秒後

20:00
おまかせ 夜
「夜モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(夜)20:00)

約2秒後

12:34
おまかせ 昼
現在時刻に表示が切り替わり、
時間に応じたモードが表示される

メモ

- 「普段のあかり」は、リモコンで設定した明るさ、光の色で点灯します。
- 「パネル光」は、リモコンで設定した明るさ、点灯パターンで点灯します。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」が同時刻に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。



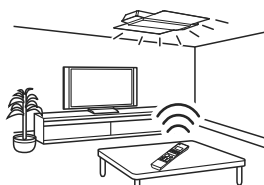
2

操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

▶ 設定した時刻になると、自動であかりシーンが切り替わります。

メモ

消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動であかりシーンは切り替わりません。



■ おまかせモードをOFFにする

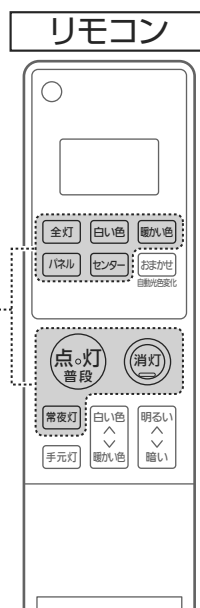
リモコンの「全灯」、「白い色」、「暖かい色」、「パネル」、「センター」、「点灯・普段」、「消灯」、「常夜灯」のいずれかのボタンを押す

▶ リモコンの液晶パネルの「おまかせ」の表示が消え、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わります。

メモ

- 「おまかせモード」は、OFFにしないかぎり「朝モード」・「昼モード」・「夜モード」をくり返します。
例)「朝モード」・「夜モード」の時間帯に壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF → ONにした場合は、「普段のあかり」に切り替わりますが、次のモード切替時刻でそのモードに応じた点灯状態に切り替わります。(「昼モード」の時間帯の場合は、壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF → ONにすると「常夜灯」に切り替わりますので、次のモード切替時刻になっても点灯状態は切り替わりません。)
- 壁スイッチをOFFにした場合、次にONしたときはOFF前の点灯状態で点灯しますので、「朝・昼・夜モード」の時間帯がずれる場合があります。その場合は、もう一度「おまかせボタン」を押して、時間帯に合った点灯状態にしてください。(押さなかった場合は、次のモード切替時刻で時間帯にあった点灯状態に自動切替します。)
例)「夜モード」時に壁スイッチをOFF → 「朝モード」時間帯に壁スイッチをONにすると「夜モード」の「パネル光」で点灯します。その時にもう一度「おまかせボタン」を押すと、「朝モード」の「全灯」に切り替わります。(「おまかせボタン」を押さなかった場合、次の「昼モード」の切替時刻で「普段のあかり」に自動切替します。)

いずれかを押す



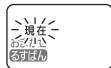
おまかせモードの設定時刻を変更する

注意

「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。
「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

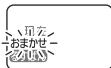
1 リモコンのフタを開ける

2 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す



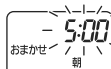
現在が点滅する
(おまかせと **るすばん** は点灯)

3 リモコンの「H/Vボタン」でおまかせに合わせる



おまかせが点滅する
(現在と **るすばん** は点灯)

4 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの朝時刻が点滅する
(初期設定: (朝) 5:00)

5 リモコンの「H/Vボタン」を押して朝時刻を変更する



- 時刻は10分刻みで設定できます。

6 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの昼時刻が点滅する(初期設定: (昼) 12:00)
→ 上記手順 **5** と同様に昼時刻の変更をする

メモ

他の時間帯と重複できません。

例) 朝時刻を5:00に設定した場合

→ 4:50(最短の夜時間: 朝時間のマイナス10分)、5:00は設定不可

7 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの夜時刻が点滅する(初期設定: (夜) 20:00)
→ 上記手順 **5** と同様に夜時刻の変更をする

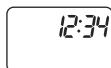
メモ

他の時間帯と重複できません。

例) 朝時刻を5:00、昼時刻を12:00に設定した場合

→ 5:00から12:00までは夜時刻の設定不可

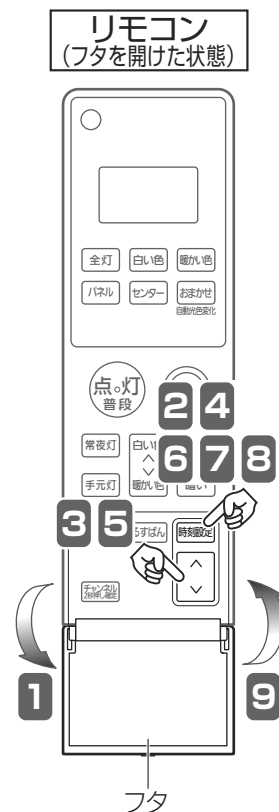
8 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押し時刻を決定する



現在時刻に切り替わり設定完了

- 「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
- 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

9 リモコンのフタを閉じる



リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。

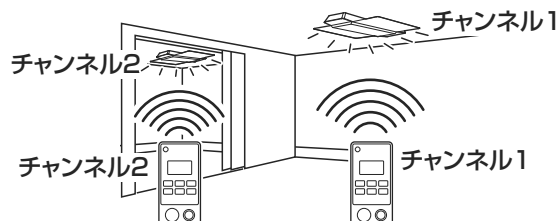
◎ 器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- 1 壁スイッチON **チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする**
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※)

- 2 **リモコンのフタを開けて「チャンネルボタン」を押し希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる**
— 現在設定されているチャンネルが表示されます。
— その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)

- 3 (リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて)
チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す
→ 「ピピーッ」と音がして設定完了

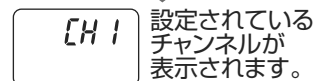
※: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの「全灯」「白い色」「暖かい色」「パネル」「センター」「おまかせ」「常夜灯」「点灯・普段」「消灯」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



いずれかのボタンを押している間は



設定されているチャンネルが表示されます。

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーをONにすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

■ おやすみタイマーをONにする

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーを選択する**
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・OFF)
30 おやすみ → 60 おやすみ → 12:34
押すごとに表示が切り替わります。

- 2 **リモコンのフタを開けてリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く**
☞ 9ページ「送信のしかた」参照

メモ リモコンのタイマー時間表示は、1分刻みで減っていきます。

■ おやすみタイマーをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「おやすみ」の表示があるときに

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押す**

→ リモコンの液晶パネルの「おやすみ」の表示が消え、「おやすみタイマー」がOFFする

メモ

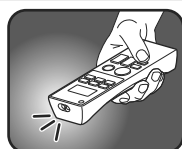
- リモコンの「消灯ボタン」を押して消灯させた場合も「おやすみタイマー」はOFFされます。
- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」はOFFされます。

手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利な手元灯付き

手元灯

リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯が点灯



注意

ひんぱんに手元灯を使用すると電池寿命が短くなります。

るすばんモードとは

リモコンで留守中に在宅を装う「るすばんモード」をONにしておくと照明器具が自動的に点灯/消灯します。
(本商品で家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。)

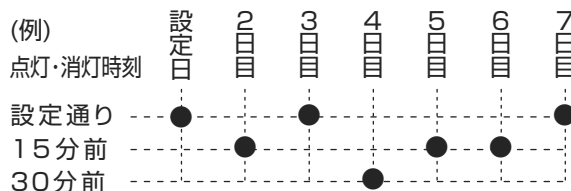
るすばんモードのはたらき

- 「るすばんモード」をONにすると、留守中に照明器具が自動で点灯・消灯し、在宅を装います。

(例)初期設定



- るすばんモードはOFFにするまで毎日繰り返します。在宅を装うため、点灯・消灯時刻は「設定通り」、「15分前」、「30分前」の3パターンでランダムに変わります。(設定日は「設定通り」で動作します)



るすばんモードの設定

るすばんモードの使いかた

るすばんモードをONにする

- 注意** るすばんモードをONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

1 るすばん リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

17:00 点灯 るすばん 点灯時刻が表示される (初期設定: (点灯) 17:00)

約2秒後

23:00 消灯 るすばん 消灯時刻が表示される (初期設定: (消灯) 23:00)

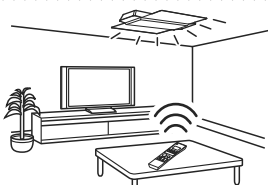
約2秒後

12:34 るすばん 現在時刻が表示が切り替わり、るすばんモードがセットされる

メモ

- るすばんモードは「普段のあかり」の明るさで点灯します。
- 「るすばんモード」、「おまかせモード」、「おやすみタイマー」が同時に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

2 リモコンのフタを閉めて操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く



メモ

壁スイッチOFFでは、「るすばんモード」は動作しません。お出かけの際に照明器具をOFFする場合は、リモコンで操作してください。

るすばんモードをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「るすばん」の表示があるときに

るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

- ➡リモコンの液晶パネルの「るすばん」の表示が消え、「るすばんモード」がOFFする

るすばんモードの設定時刻を変更する

- 注意** 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

1 時刻設定 リモコンのフタを開けて「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

現在が点滅する (おまかせと るすばん は点灯)

2 時刻設定 リモコンの「△▽ボタン」で「るすばん」に合わせる

るすばん が点滅する (現在とおまかせは点灯)

3 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

点灯時刻が点滅する

4 時刻設定 リモコンの「△▽ボタン」で点灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 点灯時刻は30分刻みで設定できます。

5 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

消灯時刻が点滅する

6 時刻設定 リモコンの「△▽ボタン」で消灯時刻を変更する

- 点滅している時に、時刻の変更ができます。
- 消灯時刻は30分刻みで設定できます。

7 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

➡時刻の変更が完了する

- 「時刻設定」を押さないで約60秒で、前回の設定に戻ります。
- 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

メモ 「点灯」と「消灯」の同時刻設定はできません。

音楽を再生する

ご使用前の準備 (Bluetooth® 機器をペアリングする)

- ・この製品はBluetooth®機能を搭載した器具です。
- ・スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器および付属のワイヤレス送信機で操作することができます。
- ・1台のスピーカーに対して、複数のスマートフォン・タブレットを同時に使用できません。
- ・1台のスマートフォン・タブレットに対して、使用できるスピーカーは1台のみです。
- ・事前に付属のワイヤレス送信機と接続している場合、付属のACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
- ・ワイヤレス音楽再生機器などの他のBluetooth®機器がスマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器と接続されていると、スピーカーと通信ができなくなります。他のBluetooth®機器の接続を解除してから設定してください。
- ・スピーカーにペアリングできるBluetooth®機器は最大8台です。
- ・最大ペアリング数を超えて登録すると、Bluetooth®接続した順番が古いものから上書きされ、上書きされたBluetooth®機器はペアリングが解除されます。上書きされたBluetooth®機器を再度お使いいただくには、ペアリングをやり直してください。
- ・再生中の音声と映像がずれるときは、照明器具の壁スイッチを入れ直したり、Bluetooth®接続をやり直してください。
- ・スマートフォン・タブレット・Bluetooth®機器に搭載のワンセグやFMラジオ等の音声を再生する場合、スマートフォン・タブレット・Bluetooth®機器の仕様や設定により、再生できないことがあります。
- ・機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。
- ・スピーカー自体には音量調節機能を搭載していないため、Bluetooth®機器の仕様によって音量調節ができない場合があります。
- ・接続完了後、スピーカーから大音量で出力される場合がありますのでBluetooth®機器を再生する前に音量を下げておいてください。

1.スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器の設定

スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器の設定方法に従い、Bluetooth®をONにしてください。

2.照明器具の電源を入れる

スピーカーは、最大8台まで登録できます

壁スイッチをONにしてください。既に壁スイッチをONにしている場合はいったんOFFにし、しばらくしてからONにしてください。

3.初期設定(ペアリングを行う)

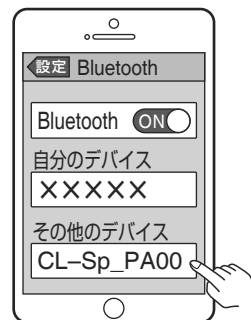
スマートフォン・タブレットなどのBluetooth®機器の設定方法に従い、壁スイッチをONにしてから2分以内にペアリングを行ってください。

スピーカーの機器名は「CL-Sp_PA00」を選んでください。

ペアリングが完了すると、スピーカーから接続完了音が鳴ります。

壁スイッチON後、2分以内にペアリングが完了できない場合は、一度壁スイッチをOFFにしてから、再度ONにしてください。

- メモ ペアリングとは、Bluetooth®機器とスピーカーをお互いに登録するための初期設定です。登録されたスピーカーについては、再度ペアリングする必要がありません。接続が解除された場合、下記「4.接続を行う」の手順を行ってください。



4.接続を行う

Bluetooth®機器の設定方法に従い、スピーカーの機器名「CL-Sp_PA00」を選び、スピーカーと接続してください。接続が完了すると、スピーカーから接続完了音が鳴ります。

※選択しても接続できない場合は、Bluetooth®機器の設定方法に従い、「CL-Sp_PA00」を一度削除してから、上記「3.初期設定(ペアリングを行う)」の手順からやり直してください。

- メモ Bluetooth®機器との接続については、機器によってはペアリングと同時に接続されます。接続が解除されている場合のみ本操作を行ってください。

【接続が解除される例】

- ・Bluetooth®機器が本機器と通信範囲外になった場合
- ・照明器具の電源がOFF(壁スイッチ)となった場合



5.音楽を再生する

Bluetooth®機器側で、音楽や動画を再生してください。

Bluetooth®機器側で、音量を調節してください。

テレビの音声を再生する

ご使用前の準備(ワイヤレス送信機をペアリングする)

- ・同時に接続できるワイヤレス送信機の台数は1台です。
- ・スピーカーにペアリングできるBluetooth®機器は最大8台です。
最大ペアリング数を超えて登録すると、Bluetooth®接続した順番が古いものから上書きされるため、機器のペアリングが解除されることがあります。再度お使いいただくには、ペアリングをやり直してください。
- ・再生中の音声と映像がずれるときは、照明器具の壁スイッチを入れ直したり、Bluetooth®接続をやり直してください。
- ・接続完了後、スピーカーから大音量で出力される場合がありますので接続前にテレビの音量を下げてください。
- ・付属のACアダプター、DCケーブル、音声接続コード以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ・DCケーブルは必ず付属のACアダプタに接続してご使用ください。他の機器に接続すると音割れや雑音が発生する場合があります。

1.ワイヤレス送信機の設置方法

1 ACアダプターを組み立てる

ACアダプターにDCケーブルをつないでください。



2 音声接続コードでワイヤレス送信機とテレビをつなぐ

注意

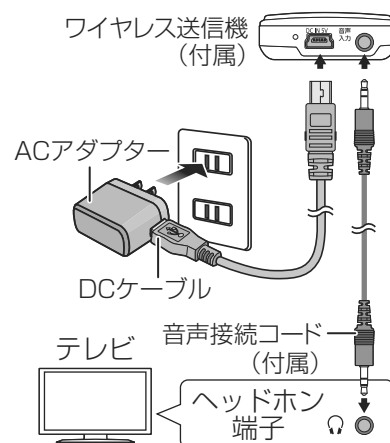
音声接続コードのプラグは奥まで押し込むようにしてください。



3 ワイヤレス送信機にACアダプターをつないだ後、電源コンセントに接続する

ワイヤレス送信機の電源が入り、状態表示ランプがゆっくり点滅します。

4 テレビの電源を入れる



2.照明器具の電源を入れる

壁スイッチをONにしてください。

既に壁スイッチをONにしている場合はいったんOFFにし、しばらくしてからONにしてください。

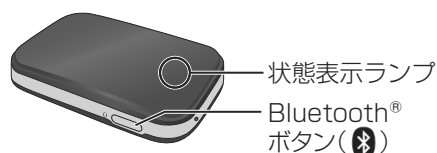
3.初期設定 (ペアリングを行う)

壁スイッチをONにしてから、2分以内にワイヤレス送信機の「Bluetooth® ボタン (ⓑ)」を5秒以上押してください。

状態表示ランプが速く青色に点滅し、登録待機状態になります。
接続されるとワイヤレス送信機の表示ランプが青色に点灯します。

- ・接続までに約30秒程度かかる場合があります。
- ペアリングが完了するとスピーカーから接続完了音が鳴ります。

メモ ペアリングとは、ワイヤレス送信機とスピーカーをお互いに登録するための初期設定です。
登録されたスピーカーについては、再度ペアリングする必要がありません。



音声を再生する

1.ワイヤレス送信機と接続を行う

ワイヤレス送信機とスピーカーの接続については、ペアリングと同時に接続されます。

メモ 前回ワイヤレス送信機と接続していた場合、自動で接続を行います。
照明器具の壁スイッチがONであること、ACアダプターが電源コンセントにつながっていることをご確認ください。

【接続が解除される例】

- ・ワイヤレス送信機と照明器具が通信範囲外になった場合
- ・ワイヤレス送信機のACアダプターをコンセントから抜いている場合
- ・照明器具の電源がOFF(壁スイッチ)となった場合

2.音声を再生する

スピーカーと接続が完了した時点でテレビからの音声再生されます。テレビ側で音量を調節してください。

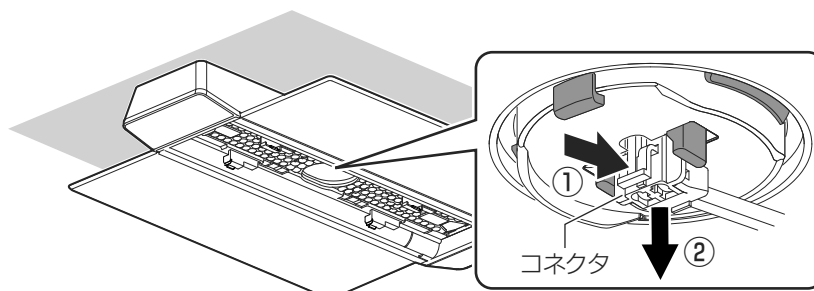
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

カバーの外しかたは、👉 7ページ「照明器具を取り付ける」手順7の「カバーの外しかた」を参照してください。

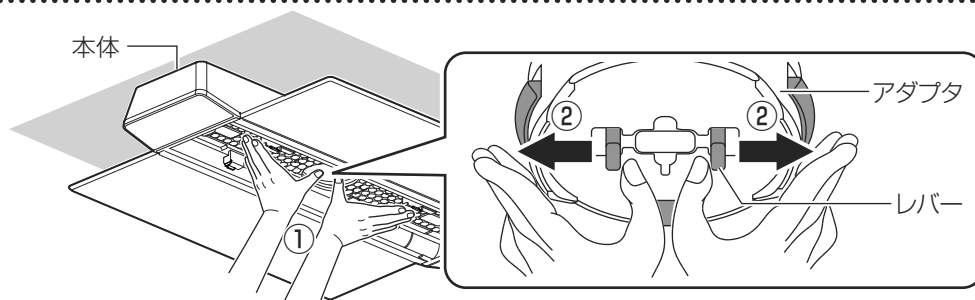
1 コネクタを外す

- ① つまみながら
- ② 引いて、外す

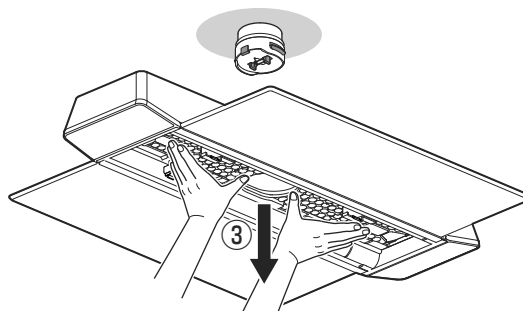


2 本体を外す

- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② アダプタのレバーを矢印の方向(左右)に広げたまま

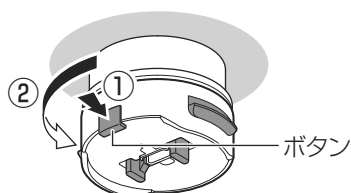


- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3 アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。

スピーカーのお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を**水**に浸してよく絞ってからふき取り、そのあと乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。

パネルのお手入れ (パネルの裏面: キレイコート仕様)

- 汚れは、必ずハンディモップなどで先にほこりを取ってから、やわらかい布を**水**に浸し、よく絞って**湿り気のある状態**で軽くふき取ってください。

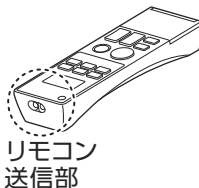
ハンディモップ
イメージ図



【キレイコートとは】水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

他の部位のお手入れ

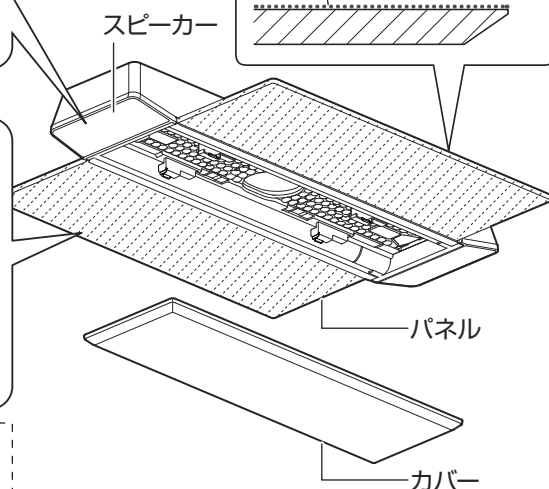
- 汚れは、やわらかい布を**石けん水**に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
- ◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。



リモコン
送信部

パネルの断面図

キレイコート(パネルの裏面)

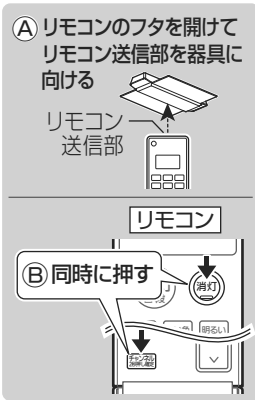


確認

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- パネルは、からぶきしたり、強く何度もこすらないでください。発光ムラの原因となります。
- パネルの裏面にほこりがある状態でふき取るとプリズムが目詰まりする原因となります。
- キレイコート部(パネルの裏面)を水拭きの際は、洗剤などを使用しないでください。コーティングはがれの原因となります。
- カバーに衝撃を与えないでください。割れや欠けの原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けられない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し……………  20ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける……………  6ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、……………  20ページ ① ②本体を押し上げてから……………  6ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む……………  7ページ ⑤	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしている	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	12ページ  「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯、消灯する	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	 17ページ 「るすばんモードの使いかた」
	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	—  11～12ページ 「あかりをつける」
	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	 16ページ 「おやすみタイマーの使いかた」
リモコン で操作 できない	液晶が表示しない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる 
	液晶は表示している LED手元灯は点灯 する	リモコンの電池が消耗している ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ  「リモコンの準備」
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	 16ページ 「複数のリモコン照明器具を 操作する」
調色操作ができない	「全灯」になっている	リモコンもしくは壁スイッチ操作で 「普段のあかり」に切り替える (「全灯」は、調色操作ができません)	 11～12ページ 「あかりをつける」
点灯状態が 勝手に 切り替わる	「おまかせモード」がONになっている	「おまかせモード」をOFFにする	 14ページ 「おまかせモードの使いかた」
	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	 17ページ 「るすばんモードの使いかた」
	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記のA、Bの操作を行ってください。 Aリモコンの「フタ」を開けて「リモコン 送信部」を器具に向ける Bリモコンの「チャンネルボタン」と「消 灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻 りますので、次ページの「上記の処置を行っ ても現象が続く場合」本体の処置②を行っ てください。また、記憶させていた普段の あかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻 りますので、設定をしておしてください。	
「ピピッ ピピッ ピピッ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください	
「おまかせモード」の朝・ 昼・夜モード、「るすばん モード」の点灯・消灯時刻 が設定できない			
現在時刻が点滅している	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	 8ページ 「リモコンの準備」
「おまかせモード」「るす ばんモード」「おやすみタ イマー」が操作できない			
現在時刻が点滅している (00:00で点滅している)	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
「おまかせモード」で あかりのシーンが 切り替わらない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	9ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	21ページ 「お手入れについて」
	常夜灯または、消灯になっている	常夜灯、消灯以外の点灯モードに 切り替える	11～12ページ 「あかりをつける」
「るすばんモード」 「おやすみタイマー」で 点灯または消灯しない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	9ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	21ページ 「お手入れについて」
現在時刻の 変更ができない	「おまかせモード」、「るすばんモード」、 「おやすみタイマー」がONになっている	「おまかせモード」、「るすばんモー ド」、「おやすみタイマー」をOFFに してから行う	14ページ 「おまかせモードの使いかた」 16ページ 「おやすみタイマーの使いかた」 17ページ 「るすばんモードの使いかた」
「るすばんモード」が 設定時刻より早く 点灯、消灯する場合がある	「るすばんモード」をONにして、2日目以降である (より在宅を装うため、2日目以降からは) 点灯、消灯時刻が設定通り、15分前、 30分前とランダムに変わります。	設定時刻通りに、点灯・消灯したい 場合は、その日ごとに「るすばん モード」をONにする	17ページ 「るすばんモードの使いかた」
音楽・テレビの音声の 操作ができない	ワイヤレス送信機スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器とスピーカーのペアリングや接続を解除した	再度ペアリングや接続を行う	18ページ 「音楽を再生する」 19ページ 「テレビの音声を再生する」
	ワイヤレス送信機スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器とスピーカーのペアリングや接続ができていない	ペアリングや接続を行う	
	スマートフォン・タブレットなどの Bluetooth®機能がOFFになっている	スマートフォン・タブレットなどの Bluetooth®機能をONにする	
	テレビ・Bluetooth®機器の音量が最小 または消音になっている	テレビ・Bluetooth®機器の音量を 調整する	
	音楽ソースが正しく選択されていない	正しい音楽ソースを選択する	
本機のスピーカーから 音が鳴らない	ワイヤレス送信機・ACアダプター・DC ケーブル・音声接続コードがつながって いない	ワイヤレス送信機・ACアダプター・ DCケーブル・音声接続コードを つなげる	10ページ 「スピーカーの電波受信について」 18ページ 「音楽を再生する」 19ページ 「テレビの音声を再生する」
	他のスピーカーと接続している	Bluetooth®機器と他のスピーカ ーの接続を解除後、再度接続を行う	
音が途切れる	電波環境が悪い	使用していない他のBluetooth®機器の電源を切る	10ページ 「スピーカーの電波受信について」 18ページ 「音楽を再生する」 19ページ 「テレビの音声を再生する」
	Bluetooth®機器と照明器具の距離が離れている	照明器具に近づく	
	高音質の音声を長時間再生している	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機能をOFF後、再度ONにする	
音割れや雑音がスピー カーから流れる	テレビのUSB部分にDCケーブルを接続している	付属のACアダプタに接続して電源コン セントに接続する	19ページ 「テレビの音声を再生する」
再生中の音声と映像が ずれる	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器 がQualcomm®aptX™ Low Latencyに 対応していない	—	—
照明・音楽の操作が できない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする	12ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
	ワイヤレス送信機スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器・照明器具の周りが金属製のもので囲われている	金属製のものを取り除く	10ページ 「スピーカーの電波受信について」
	ワイヤレス送信機スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器と照明器具の間に障害物がある	障害物を取り除く	
	ワイヤレス送信機スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器と照明器具の距離が離れている	照明器具に近づく	
	強い電波を発生する機器が近くにある	強い電波を発生する機器を遠ざける	
	スマートフォン・タブレットなどのBluetooth® 機器 が他のBluetooth® 機器と接続されている	他のBluetooth® 機器の接続を 解除する	—

上記の処置を
行っても
現象が続く場合

本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する 16ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する 16ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 2 参照
ワイヤレス送信機	電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
スマートフォン・タブレット	スマートフォン・タブレットの再起動を行う

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中) にご相談ください。

仕様



保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

■照明

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
□ LGC38202	AC100 V	50/60 Hz共用	42.5W (照明動作時 36.7W スピーカー動作時 7.3W)	リモコンOFF時 (待機時状態) 2W以下	0.44A (照明動作時 0.39A スピーカー動作時 0.15A)
□ LGC58202			51.9W (照明動作時 46.3W スピーカー動作時 7.3W)	常夜灯のみ 約2W	0.55A (照明動作時 0.48A スピーカー動作時 0.15A)

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

■スピーカー

アンプ	実用最大出力	5W+5W (1kHz,T.H.D 10%,6Ω,20kHz LPF,JEITA)
スピーカー	形式	1ウェイ1スピーカー パスレフ型
	使用スピーカー	3cm×9cmコーン型フルレンジ ×2
	インピーダンス	6Ω
スピーカー部 Bluetooth®	バージョン	Ver.2.1+EDR
	出力	Class2 (2.5mW)
	プロファイル	A2DP (SCMS-T対応)
	対応コーディング	Qualcomm®aptX™ Low Latency,SBC
	通信方式	2.4GHz band FH-SS
	見通し通信距離	約10m
		高さ1mの位置にて測定
	登録機器台数	最大8台

■ワイヤレス送信機

Bluetooth®	バージョン	Ver. 3.0
	出力	Class2 (2.5mW)
	プロファイル	A2DP
	対応 コーディング 通信方式	Qualcomm®aptX™ Low Latency,SBC 2.4GHz band FH-SS
外形寸法 (幅×高さ×奥行)		44×16×69mm
質量		約22g
消費電力		0.5W
待機時消費電力		0.5W以下
AC アダプター	入力	AC100V、50/60Hz 0.2A、10VA
	出力	DC5V、800mA

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話 ()	—
お買い上げ日	年 月 日

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2020

LGC38202 - T3A

N0420 - 00

